

受検番号	
------	--

平成 29 年度 フォークリフト荷役技能検定 2 級 学科試験問題

【解答上の注意】

1. この問題のページは 2 から 6 までです。
2. 解答はすべて別紙解答用紙に記入してください。
3. 問題用紙の表紙に受検番号を記入してください。
4. すべて正誤形式の設問です。各設問の文章の意味が正しいときは、解答用紙の「正」を、誤りのときは解答用紙の「誤」を○で囲むこと。
5. 携帯電話の持ち込みはできません。
6. 制限時間は 40 分です。

陸上貨物運送事業労働災害防止協会

- 1 労働者の安全および衛生に関する法規制は、当初労働基準法の中で規定されていたが、その後、労働安全衛生法として労働基準法から分離独立して制定されたものである。
- 2 労働安全衛生法では、労働災害を防止するための最も高い基準が定められている。
- 3 労働者は、労働災害を防止するため必要な事項を守るほか、事業者その他の関係者が実施する労働災害防止に関する措置に協力するよう努めなければならない。
- 4 事業者は、最大荷重1トン以上のフォークリフトの運転（道路上を走行させる運転を除く。）の業務に労働者をつかせるときは、当該業務に関する安全のための特別の教育を行わなければならない。
- 5 事業者は、常時使用する労働者に対し、1年以内ごとに1回、定期的に、医師による健康診断を行わなければならない。
- 6 事業者は、フォークリフトを用いて作業を行うときは、あらかじめ当該作業場所及び地形、荷の種類及び形状等に適した作業計画を定めなければならないが、最高速度が毎時15キロメートル以下で走行するフォークリフトによる作業の場合は、作業計画を定める必要はない。
- 7 事業者は、フォークリフトの運転者が運転位置から離れるときは、当該運転者にフォークを最低降下位置に置かせなければならない。
- 8 フォークリフトのヘッドガードの強度は、フォークリフトの最大荷重の2倍の値（その値が4トンを超えるものにあつては、4トン）の等分布静荷重に耐えるものでなければならない。
- 9 事業者は、フォークリフトについては、1年を超えない期間ごとに1回、定期的に、定められた事項について自主検査を行わなければならない。なお、1年を超える期間使用しないフォークリフトの当該使用しない期間にあつても、検査は行わなければならない。
- 10 事業者は、最大積載量5トン未満の貨物自動車であっても、荷を積む作業を行うときは、墜落による労働者の危険を防止するため、当該作業に従事する労働者に保護帽を着用させなければならない。

- 11 ガソリンエンジンとディーゼルエンジンでは、吸入、圧縮、燃焼、排気の4行程は同一であるが、ガソリンエンジンがガソリンと空気の混合ガスを吸入し圧縮するのに対し、ディーゼルエンジンは空気のみを吸入し圧縮する。
- 12 リーチフォークリフトには後車軸がなく、後輪の1輪は駆動とかじ取りを兼ねている。かじ取り角は、約60°で、カウンターバランスフォークリフトよりも大きい。
- 13 ニューマチックタイヤ使用のフォークリフトより、ニューマチック形クッションタイヤ使用のフォークリフトの方が、乗り心地、燃費の面で有利である。
- 14 夜間作業時、倉庫内などの作業場において照明設備がなく、かつ、車の後方を照明する必要がある場合は、後照灯を装備しなければならない。
- 15 フォークリフトを使用して前進で曲がり角を曲がる場合は、普通の自動車と異なり後側が外側に寄るため内側よりに旋回する必要がある。
- 16 蓄電池式フォークリフトの充電時は塩素ガスが発生するので、バッテリー上部のフードを開けて、火気がなく雨などがかからない換気の良い場所で充電しなければならない。
- 17 フォークリフト作業を開始する前には作業開始前点検を、作業が終わった際には作業終了後点検を実施することが法律で義務付けられている。
- 18 カウンターバランスフォークリフトは最高速度は15～35kmで、負荷時は前輪に大きな荷重がかかるため、足ブレーキは特殊な大型車両を除いて、後輪のみに装着されている。
- 19 トルコン式変速機のトルクコンバーターは、エンストの心配が少なく、運転が簡単であるが、クラッチ式に比べて燃費が悪いという特徴がある。
- 20 荷を積んで走行するときは、マストを十分に後傾し、フォーク（パレット）の床面を床上より約30～40cmの位置にした姿勢で発進・走行する。

- 21 フォークを上下させるリフトチェーンは、フォークリフト構造規格でリフトチェーンの静的強度の安全係数が5以上のものを使用することとされている。
- 22 フォークは荷物を支えるつめで、その材質には通常、上質の炭素鋼又は特殊鋼が用いられているため、長期間使用しても、曲がったり、折損したりすることはない。
- 23 バックレストは、フォーク上に載せられた荷物が、マストの後方に落下することにより、運転者などに危険を及ぼすことを防ぐためのものである。
- 24 フォークリフトに使用する作動油に必要な特性は、粘度が低いこと、あわ立ちにくいこと、さびが生じにくいこと、などがあげられる。
- 25 マストにおけるフリーリフト量とは、マストを垂直にし、マストの高さを変化させずにリフトブラケットを上げることができる最大揚高で、地面からフォーク水平部の上面までの高さをいう。
- 26 安全弁は、ポンプの吐出圧が規定以上の圧力になると、作動油をタンクへもどる低圧側にバイパスさせる働きをする。
- 27 パレチゼーションとは、パレットを利用して物品を荷役、運搬し、保管したりする作業方式をといい、能率の良い近代的方法として広く普及している。
- 28 フォークリフトのアタッチメントの一つである回転クランプは、ボックスパレットに積み込んだバラ物の放出も容易にできるものである。
- 29 パレット各部の名称のうち、フォークなどを差し込むパレットの開口部を面取り部といい、フォークを差し込みやすくするために、デッキボードの端部に傾斜をつけた部分を差込口という。
- 30 急な坂道を上り、下りするときは荷物が坂の下方になるようにする。
- 31 フォークの昇降やマストの前後傾は、それぞれリフトシリンダー、ティルトシリンダーに高圧の水を送り込んでピストンを作動させることによって行われる。

- 32 積荷状態で坂道を下る際には、エンジン式では、エンジンブレーキを利用し、電気式及びトルクコンバーター式では、足ブレーキをかけゆっくり運転する。
- 33 中央に空間を設け、それを取り囲み、風車型に積みつける方式をピンホール積みといい、通常各段を交互に向きを変えながら積み重ねる。
- 34 フォーク又はフォークにより支持されたパレット、スキッド、バランスウェイトなどに人を乗せて走行してはいけない。
- 35 シートパレットは、主としてクランプ装置付きフォークリフトによって荷役されるシート状のパレットである。
- 36 物体の運動の速い、遅いの程度を示す量を、その物体の速度という。単位時間内に運動した変位の量をその物体の速さという。
- 37 1つの力を互いにある角度をなす2つ以上の力に分けることを力の合力といい、分けられたそれぞれの力を分解という。
- 38 荷重がフォークリフトの本体から離れるほど、モーメントが大きくなるので、許容過重は減少する。
- 39 物体が動き出してから、働く摩擦力を運動の摩擦力といい、その値は最大静止摩擦力より小さい。
- 40 カウンターバランス式フォークリフトが、水平で平坦な倉庫内に停止している場合、積荷を高くすると後方に傾けようとするモーメントが大きくなる。
- 41 フォークリフト等の車両系荷役運搬機械を用いて作業を行うときは、作業指揮者を選任しなければならない。
- 42 平成28年の労働災害のうち、死傷災害（休業4日以上）は、交通事故が最も多く、次いで墜落・転落災害となっている。
- 43 フォークリフトを用いて作業を行うときは、運転中フォークリフトや荷に接触するおそれのある個所に労働者を立ち入らせてはならないが、車両系荷役運搬機械等作業指揮者を配置して誘導させた場合は、この限りでない。

- 44 平成 25 年に厚生労働省が公表した「陸上貨物運送事業における荷役作業の安全対策ガイドライン」(以下、「荷役ガイドライン」という。)は、陸上貨物運送事業の事業者の労働者が行う荷役作業等の労働災害を防止するためのもので、荷主等と陸運事業者のそれぞれが取り組むべき事項を示したものである。
- 45 荷役ガイドラインでは、荷役災害防止のための担当者を指名し、その担当者に、荷役災害防に必要な教育を実施することを求めている。
- 46 荷役ガイドラインでは、運送契約時に、荷役作業における陸運事業者と荷主等との役割分担を明確にすることは重要であるため、陸運事業者と荷主等は、荷役作業等の付帯業務について書面契約の締結を推進することとしている。
- 47 ロールボックスパレットは、かご台車、かご車などとも呼ばれ、荷役作業で多く使用されているが、労働災害の発生も多いことから、労働安全衛生法第 58 条に基づく特別教育を実施しなければならない。
- 48 厚生労働省では、労働災害防止のため「危険性又は有害性等の調査等に関する指針」を公表しているが、この「危険性又は有害性等の調査」は、いわゆるリスクアセスメントのことである。
- 49 労働安全衛生法で、「はい」とは、倉庫、上屋又は土場に積み重ねられた荷の集団のことをいうが、小麦、大豆、鉱石等のばら物の荷が積み重ねられたものも含まれる。
- 50 はい作業主任者は、はい作業主任者技能講習とフォークリフト運転技能講習の両方の講習を修了した者のうちから選任しなければならない。